

情報活用能力に着目した総合的な学習の時間の展開

深谷西小学校

1 単元名 鎌倉・箱根発はばたけ未来号！ (第6学年 総合的な学習)

- 2 単元の目標 修学旅行の行き先である鎌倉・箱根について興味関心を持ち、自ら学習テーマを決め、主体的な問題解決の活動がしていけるようにする。
 調べ学習や体験を通し、人との交流活動や協力の場を大切にして、主体的、創造的に学習活動に取り組む。
 情報収集の仕方や情報活用の仕方、伝達・発表の仕方を工夫し、情報機器の効果的な活用を図る。

3 活動計画 (24時間扱い)

学習過程	時数	学習活動
ふ 課題にふれる過程	3	・修学旅行の下見の写真を見たり説明を聞いたりする。 ・箱根・鎌倉について、ガイドブックやインターネット・本地図などを活用して調べる。
か 活動計画を立てる過程	2	・自分の学習テーマを決める。 ・各自のテーマをもとにして、グループを作る。 ・テーマの再考や、調べる方法について話し合う。
に 調べ、活動し、まとめる過程	16	・学習テーマについて、本やインターネット、地図、パンフレット、ガイドブック、体験から調べる。 ・調べてわかったことを発表を意識し方法を工夫しながらまとめる。(本時)
し 表現し交流する過程	3	・学年内でパビリオン形式で発表会をし、交流を深める。 ・自分の調べ方やまとめ方、発表の仕方について振り返る。

4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

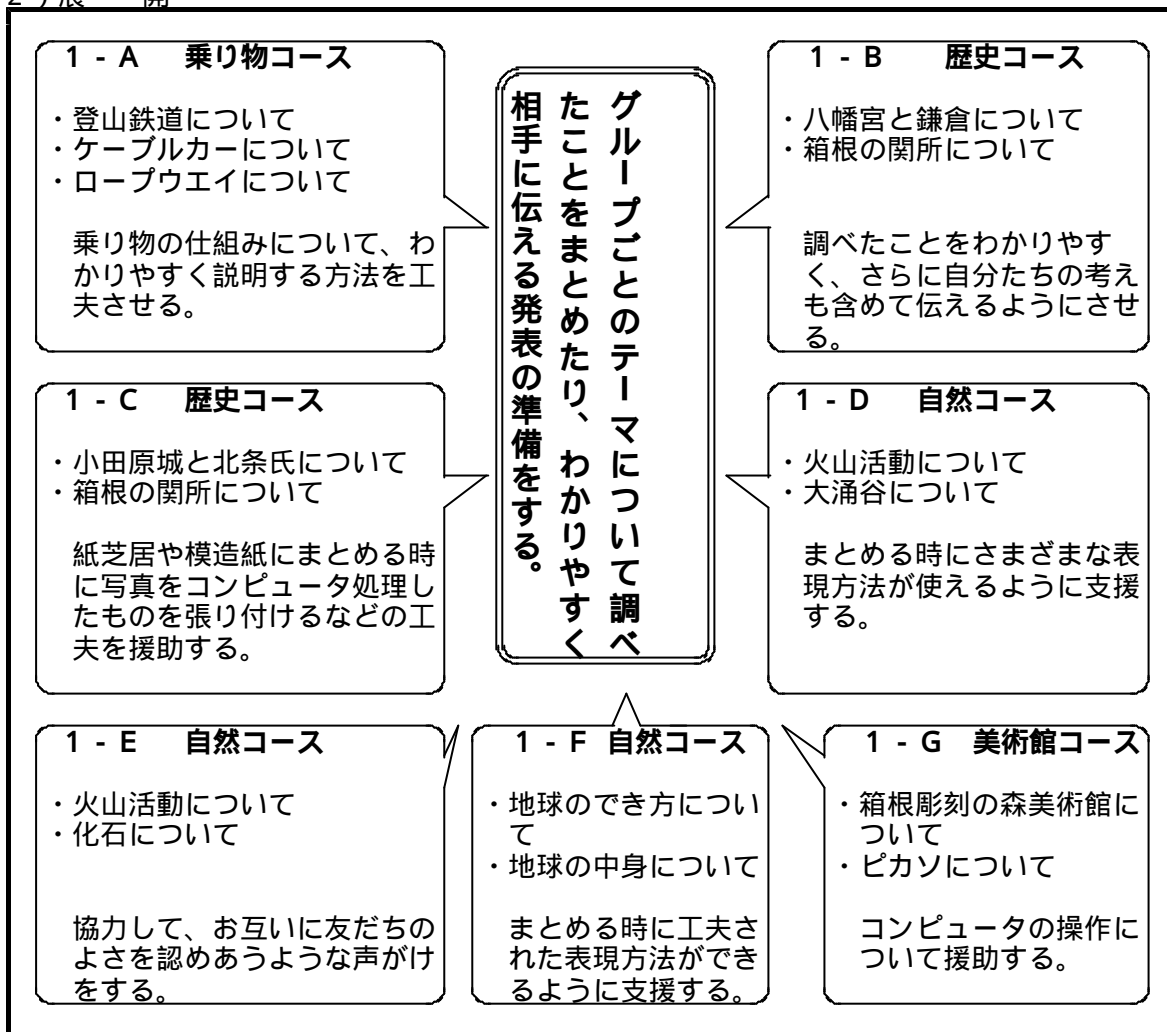
自分の知りたい情報を、本やガイドブック・地図・インターネット・パンフレットなどの手段を利用して収集することに、主体的に取り組むようにさせる。
 収集した多くの情報の中から、自分のテーマに迫れるような情報を選んだり、自分なりの分析をしたりして、自分の考えを交えてまとめていく能力を育てたい。
 自分たちで調べてまとめた内容について、わかりやすく相手に伝えるための表現の能力や情報手段の効果的な活用の能力を身につけさせるようにさせる。
 インターネットによるホームページの活用で、テーマについての様々な情報を手軽に収集できると共に、お気に入りに登録しておくことで、他の子どもたち、さらには、来年の6年生にも利用が容易にできるようになる。
 自分たちが写した写真や本やパンフレットなどの資料を取り入れるときに、コンピュータで処理をしてプリントアウトするなど、まとめた内容を、効果的に伝えることができる。



5 本時の学習 (18/24)

- (1) 目標 グループごとのテーマについて、調べたり体験したりしたことをまとめ、発表するための準備に進んで取り組む。

(2) 展 開



6 成果と反省

修学旅行の行き先である箱根・鎌倉を出発点として、子どもたちの好奇心や興味関心を広くはばかせてほしいと考えて、本単元を設定した。子どもたちは初めそれぞれのテーマを設定したが、情報を収集したり、実際に体験したりする活動を通して、テーマが初めに設定したものから変わってくるケースが多く見られた。これは、子どもたちが本当に調べたいことを、いろいろな活動を通して見つけることができたのではないだろうかと考えられる。

発表会を意識してまとめる段階で、子どもたちは、情報機器に固執せずに、紙芝居形式にまとめたり、模造紙にまとめたり、模型（大涌谷や地球の中身、ケーブルカーや登山電車など）を作ったりするなど、いろいろな方法を選んだ。美術館やピカソについて調べた子どもたちは、作品を紹介するためにコンピュータを使ってまとめていた。紙上発表の子どもたちも写真などは、デジタルカメラでとってプリントアウトして利用していた。このことから、子どもたちが、自分たちで調べてまとめた内容にあった発表の仕方・相手にわかりやすい発表の仕方を選択していることがわかる。つまり情報発信能力を身につけてきていると考えられる。

発表会は、5・6年生にパピリオン形式で行った。他の学年に発表するという一方で、子どもたちは緊張したが意欲的に取り組んでいた。発表のための資料は作っても、伝えるのは子ども自身であり、聞き手を意識して、さらに交流に広げていくことの難しさも感じた。

子どもたちにとってもインターネットがとても身近となった。しかし、インターネットでホームページの検索をすることの手軽さに、ほかの情報収集手段、特に自分で歩いて調べられることを好まない子どもが見られる。人とのふれあいも大切にしながら、情報機器の利点を生かした活動が展開できるように考えていきたい。